

- ✓ 32ソフトアクアレール 好評発売中!
- ✓ たよレール設置事例集Vol.3 発刊!
- ✓ 理学療法士からみた手すりハ
- ✓ ちょっと気になるサステナビリティ

BAUHAUS AQUA_{rail} ソフトアクアレール

ユニットバスへの 取付不安 解消!

32
ソフトアクアレール
好評発売中!!

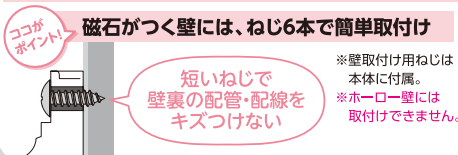
エンドブラケット・オフセットブラケットの
本体カバー形状が変わります
スリットがなくなり、よりすっきりしたデザインに。
※ 既存品がなくなり次第、順次切替えとなります。



スリットあり

スリットなし

ユニットバスでは
化粧鋼板壁が約 **60%**
(社内調査より)

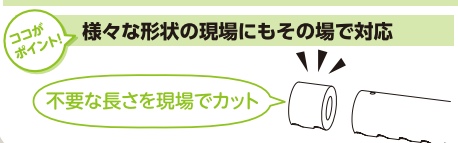


※ 壁取付け用ねじは
本体に付属。
※ ホーロー壁には
取付けできません。

最大 **1200mm**
スパンまでとばせる

※ 補強手すり棒との併用で
1200mmスパンまで対応

現場で手すりカットや
組立てができる



不要な長さを現場でカット

化粧鋼板
以外の **中空壁** にも
対応

フレキシブル板

タイル

※ 取付可能壁の条件はカタログ等でご確認ください。
※ 壁取付け用ねじは別売

直径
32mm

ディンプルつき

ソフトアクアレールについて詳しくは
「バリアフリー建材カタログ Vol.22」
P.212~をご覧ください。

たよレール

設置事例集

Vol.
3

発刊しました!

新商品の「たよレールUPDATE」も掲載。
ページ数も増え、ますます内容が充実しま
した。イメージを膨らませたり、アイデアの
ベースに、ぜひご活用ください!

Webサイトからも
ご覧いただけます▶

<https://www.mazroc.co.jp/technical/>





動作と姿勢を考えて “たよレール”を提案する

いよいよ“たよレールUPDATE”がデビューしました。自立支援を全面に考えた、自分の力で立ち上がるための手すりです。最初から受け入れられることが難しいのはわかりますが、ちょっと気になる指摘があったので整理してみました。

例えば、「方向転換をするときには逆三角形の平らな面が使いにくいのではないか」「そもそも逆三角形よりも丸のほうが握りやすいのではないか」など、形状に対する不安が多いようです。とても素晴らしい気づきである反面、とても危険な考えでもあります。

この指摘には、手すりに万能を求めてしまう背景があるはずです。“たよレールUPDATE”は横手すりであり、立ち上がり動作を自立してもらうための手すりになります。立ち上がったあとにふらつくようなら、手すりを大転子の高さに設定して“たよレールアップU”を活用する方法を提案します。特に変形性膝関節症の方が膝の痛みで立位保持が辛いときには、“たよレールアップU”で立ち上がり、立位保持でも横手すりを使って身体を持ち上げることで膝に体重がかからない工夫をするとよいでしょう。しかし、脳卒中の方はバランスが原因でふらつくことが多いため、縦手すりで立位姿勢を保持するほうが安全でしょう。そうです、皆さんの気づきは2つの問題を1本の手すりですべて解決しようとしているものであり、絶対にしないほしい考え方になります。ただ、この気づきは次の動作を考えたものであり、それぞれの動作や姿勢に適した手すりを提案できれば素晴らしい解決策が見つかります。

膝の痛みや足に力が入りにくくて立ち上がりが難しければ“たよレール

UPDATE”を低く設定します。立ち上がりだけでなく、立ち上がって立位保持でも膝が痛ければ“たよレールUPDATE”を高く設定して立位保持して、立ち上がりは“たよレールアップU”で行います。立ち上がったあとのバランスが原因でふらつくようでしたら“たよレールhigh”を設置するのでもいいでしょう。そもそも立ち上がりが難しい方には“たよレールFree”で立ち上がりにお尻を横にスライドして移乗するののも一つの提案です。

みなさんの気づきは自立を支援するために活用してください。そのためには、1本の手すりにたくさんの要求をせずに、どのように組み合わせることで次の動作につながるかを考えましょう。手すりをつなげることが、その人らしい生活をいつまでも続けられるキッカケになることを期待しています。

たよレールUPDATE
+
たよレールアップU

たよレールFree



たよレールhigh

ちょっと気になる

サステナビリティ 6

昨年末、弊社は製品安全対策優良企業表彰(通称:PSアワード)に於いて、3度目の経済産業大臣賞を受賞し、製品安全対策ゴールド企業に認定されました。その中で、受賞ポイントの1つとなった「MOTOEプロジェクト」についてお話ししたいと思います。

実は元々、介護保険制度における福祉用具貸与は、高価な用具のシェアリング・リペア・リユースをする点で、資源の無駄な消費を抑えている面があります。たとえば、弊社が製造するたよレールのような据置き手すりも、利用者が使用された後は福祉用具の貸出先(もしくはメンテナンスセンター)でメンテナンスを行い、繰り返し別の利用者が利用されます。この時、プラスチック部品等の劣化があればその部分だけ部品交換し、なるべく資源廃棄量を減らすことが業界的に行われています。ですが、母材となる鋼材の塗装が大きく剥がれたり、サビでしまったりした場合は廃棄せざるを得ない場合もあります。

そこで「MOTOEプロジェクト」では、部品交換などの補修では難しい、本来

This month's theme

MOTOEプロジェクトについて

廃棄されてしまうような製品の回収を行い、工場でサビでしまったプレートの再塗装→再利用などを推進しています。

専門的な言葉では、「リマニュファクチャリング(リマン)」という言葉が該当します。リペア〜リサイクルの中間を指す言葉で、プリンターのインクカートリッジ再生材などは、よく目にするリマン製品と言えるでしょう。

リマンはCO₂削減効果が高いと言われており、弊社では新品同等の品質を担保するために回収品1つ1つの検査も行っています。

サステナビリティ関連の動向が加速する中で、今後は弊社も「MOTOEプロジェクト」を通じて製品寿命の延伸も推進してまいります。



アプリも登録も不要！
スマホ
Mazroc WebAR
デモ機



手すりを 実物大で
バーチャル配置！

さっそくARで
手すりを
置いてみる▶▶



福祉住環境
コーディネーター 道
の答え：④ 袖壁

マツ六公式SNS
更新中！ check!

Instagram ▶ @mazrocofficial
X ▶ @mazrocofficial1

Facebook ▶ facebook.com/mazroc/
YouTube ▶ @mazrocsho

